

さらに、石油コンビナート地区や危険物施設の保安管理体制及び建築物の火災予防対策については、引き続き指導強化に努めます。



平安座石油基地で行われた防災訓練

消防団については、組織体制の見直し検討を行い、消防職・団員との更なる連携により、消防力の充実強化に努めます。

交通安全対策については「第10次交通安全計画」を策定し、警察や交通安全協会と連携を図り、飲酒運転の根絶と交通ルールの遵守に向けた啓発活動に取り組み、交通安全意識の向上に努めます。

防犯対策については、市民・行政の協働のもと、防犯活動の展開や防犯協会を中心とした協力体制の強化を図る

とともに、引き続き、各自治会へ防犯灯のLED化に向けた助成事業を実施します。

基地問題については、これまで米軍の事件・事故の再発防止や安全管理の徹底等を申し入れてきましたが、昨年は、米軍ヘリの着艦失敗事故により、市民や漁業関係者に大きな不安を与えたことは、極めて遺憾であり、これら米軍から派生する事件・事故等の問題解決には、加重的な米軍基地負担の軽減、日米地位協定の抜本的見直し等が必要であり、沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会をはじめ、関係機関との連携を図りながら、日米両政府及び米軍へ訴えてまいります。

基地対策については、米軍航空機の騒音測定を引き続き実施し、実態の把握に取り組み、市民の安全・安心な生活環境の改善に努めます。

また、ホワイトビーチの原子力潜水艦の寄港については、国に対して、引き続き、寄港の中止と安全対策を求めまいります。

行政改革については、第3次行政改革大綱に基づく実施計画を着実に推進します。

また、社会情勢や市の行政課題等に柔軟に対応するため、「こども部」の新設をはじめとする組織機構改革を行い、市民サービスの向上に努めます。

各庁舎の跡利用については、作業チー

ムでの検討や民間活用アイデア募集を行っており、体制を強化しながら迅速に取り組みます。

また、市民の利便性の向上を図るため、コンビニエンスストアにおいて、住民票や印鑑証明などが取得できるよう、コンビニ証明発行の実現に取り組みます。

市税については、適正かつ公平な課税に努めるとともに、引き続き、徴収率の向上と滞納繰越額の縮減に取り組みます。

人事行政については、多様化する市民ニーズに対応できる職員の資質向上を目指し、職員研修の充実及び人事評価の導入に向けて取り組みます。

行政経営については、年々厳しくなる本市の財政状況等を踏まえ、施策の評価・検証を行うとともに、より効率的な行政運営が図れるよう取り組みます。

また、市政運営とまちづくりの指針となる次期総合計画については、平成28年度中に策定します。

5 結び

以上、平成28年度の市政運営にあたり、私の所信と予算案、主要事業の概要について述べてまいりました。

昨年は、うるま市が誕生して10周年という節目を迎えました。

新年から新庁舎において業務を始め、本年5月には、各庁舎の部署を集約し、まちづくりの新たな拠点としてスタートいたします。

今後もワンストップサービスをはじめ、市民の皆さまに対する行政サービスの向上と効率的な行政運営に努めてまいります。

また、合併以来、各地域の特色を活かし、均衡ある発展を目指しながら、市民の融和と一体感を深めるため、諸事業を展開し、まちづくりの基盤を築いてまいりました。

平成28年度は、これまでの10年間の歩みを踏まえ、本市のさらなる飛躍を目指し、「市民協働のまちづくり」、「それぞれの地域の特性を活かした地域づくり」に全力で取り組む所存であります。

市議会並びに市民の皆さまには、今後とも市政運営に対するご理解とご協力をお願い申し上げます、私の施政方針といたします。

平成28年2月24日

うるま市長

島袋俊夫